

科目コーディネータ	木村 祐輔 特任教授				問合せ先	緩和医療学科				
科目コーディネータ所属	緩和医療学科				連絡先	内線 2013				
講義場所	緩和ケア外来 他									
区分等	区分	演習	回数	通年8コマ	単位	1	配当年次	1・2		
担当教員	木村 祐輔 特任教授 鴻巣 正史 講師									
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー			
	がんの基礎科学ならびに疾患毎の治療法の概要を理解し、緩和ケアについての高度な知識・技術を獲得するとともに、実践的演習を通じて、チーム医療を構成する各職種の専門性を理解し、適切なコミュニケーション、情報の共有、およびチームマネジメントの手法を身につけることで、包括的がん医療における各専門医療者としての役割を果たすことができるようになる。						1,2,3,4,5,6,7,8			
達成目標	達成目標				対象講義					
	(1) がんの生物学的特性、免疫学的特性を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(2) 各種がんにおける治療法の概要を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(3) 外科治療の意義、術式、合併症について説明できる。				(1) (2) (3)					
	(4) 化学療法における作用機序、効果、有害事象を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(5) 放射線治療における作用機序、効果、有害事象を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(6) 緩和ケアについて、その理念、目的、意義について説明できる。				(1) (2) (3)					
	(7) 全人的な“痛み”を理解し、その評価方法を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(8) 患者および家族とのコミュニケーション方法を習得し実践することができる。				(1) (2) (3)					
	(9) がん性疼痛(体性痛、内臓痛、神経障害性疼痛)の機序を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(10) がん性疼痛の実践的な基礎知識を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(11) がん治療経過中に出現する多彩な症状(呼吸困難、倦怠感、嘔気、浮腫など)の機序とそれぞれの対応方法を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(12) がん治療経過中に出現する精神的ストレス、不安、抑うつに対する診断、対応方法を説明できる。				(1) (2) (3)					
	(13) 遺族ケアの実際を理解し実践することができる。				(1) (2) (3)					
	(14) がん治療に関わる多職種(医師、看護師、薬剤師、MSW, 臨床心理士ほか)それぞれの役割について理解し、協調した活動が実践できる。				(1) (2) (3)					
	(15) 緩和ケアにおける地域リソースの実際を説明できる。				(1) (2) (3)					
(16) 緩和ケアにおける地域連携を理解し実践することができる。				(1) (2) (3)						
資格取得等										
成績評価方法	<p>【2021年度以降の入学学生】 「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。</p> <p>【2020年度までの入学学生】 出席、レポートなどにより総合的に評価する。</p>									
特記事項	<p>各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>【2021年度以降の入学学生】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>【2020年度までの入学学生】 講義の出欠は履修手帳で管理する。</p>									
教科書・参考書	<p>専門家を目指す人のための緩和医療学、Oxford Textbook of Palliative Medicine 5th Ed.</p>									

月日	曜日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
			<p>(1) 医療者に対する緩和ケア教育プログラム「緩和ケア研修会」 講義、演習を通じて、緩和ケアの基本的概念の理解、基本的ケアの実際を学び、臨床に応用することができる。</p>	木村 祐輔 特任教授 (緩和医療学科)	未定
毎週	火	16:00~	<p>(2) 緩和ケアチーム実習 (参加2回以上) 緩和ケアチームが行っている臨床例への支援を経験し、専門医療人として実際の緩和ケア提供ができるようになる。</p>	木村 祐輔 特任教授 (緩和医療学科)	緩和ケア外来
毎月	第3月曜	19:00~	<p>(3) 岩手緩和ケア テレビカンファレンス (参加2回以上) 臨床例を元に、岩手県内の参加者とディスカッションを行うことにより、緩和ケアへの理解を深め、実践することができるようになる。</p>	木村 祐輔 特任教授 (緩和医療学科)	緩和医療学科医局

※ 通常の授業時間帯と異なる場合がありますので、事前に確認してください。(問い合わせ先; 木村教授・内線2013)